職員向け更新マニュアル

件名：「令和7年国勢調査 人口等基本集計 結果の要約」のウェブページ化

本書は株式会社行間が自主的に制作した制作例に添える文書です。受託業務の納品物ではありません。この制作例のページを雛形にして、次の資料のページを作る手順です。

1. このマニュアルでできること

- 文章・箇条書き・表・PDF へのリンクだけの資料ページを、HTML の専門知識がなくても追加できます（3〜5 の手順）。
- 図（グラフ）を含む資料は、図の数値を Excel で用意していただければ、図の作成は事業者が行います（6）。

作業にはテキストエディタ（Windows の「メモ帳」でも可。保存時に文字コード「UTF-8」を選ぶ）と、確認用のブラウザを使います。

2. ファイルの構成

ファイル	内容
`index.html`	資料のページ。1 つの資料につき 1 ファイル
`style.css`	見た目（文字の大きさ・色・表の線など）。すべての資料のページで共通。変更しない

JavaScript は使っていません。ファイルを置くだけで表示されます。

3. 新しい資料のページを作る

1. 雛形の `index.html` をコピーし、資料を表す名前に変えます（例：`2027-summary.html`）。名前は半角の英数字とハイフンだけにします。
2. エディタで開き、次の 4 か所を書き換えます。

場所（目印）	書く内容
`<title>`	資料の題名（ブラウザのタブに出る）
`<h1>`	資料の題名（ページの一番大きな見出し）
`class="meta"`	公表日と作成した課
`class="about"`	原本の PDF へのリンク（形式と大きさを括弧で書く）

3. 本文の `<section>` を章の数だけ残し、4 の部品で中身を書きます。使わない章は `<section>` から `</section>` まで消します。

4. 目次（class="toc"）の項目を、章の見出しに合わせて直します。項目の href="#s1" と章の id="s1" を同じにします。

4. 部品の書き方（そのまま写して使えます）

4-1. 章の見出しと箇条書き

```
<section id="s1" aria-labelledby="s1-h">
  <h2 id="s1-h">章の見出し</h2>
  <ul class="points">
    <li>1 つめの文章</li>
    <li>2 つめの文章</li>
  </ul>
</section>
```

章ごとに s1・s2… と番号を変えます。見出しが 2 行のときは、各行を … で囲みます。

4-2. 表

```
<div class="tablewrap" role="region" aria-labelledby="t1-cap" tabindex="0">
<table>
  <caption id="t1-cap">表1　表の題名</caption>
  <thead><tr><th scope="col">年次</th><th scope="col">人口（人）</th></tr></thead>
  <tbody>
    <tr><th scope="row">2025年</th><td>122,972,528</td></tr>
  </tbody>
</table>
</div>
```

- 列の見出しは scope="col"、行の見出しは scope="row"。
- Excel の表から作るときは、数値をコピーして 1 行ずつ <tr> にします。行が多いときは事業者に依頼してください（変換のプログラムがあります）。

4-3. PDF などへのリンク

```
<a href="https://（PDF の URL）">資料の名前（PDF：554KB）</a>
```

4-4. 注記・出典

```
<p class="fig-note">注）注記の文章</p>
```

5. 公開する前の確認

1. 作ったファイルをブラウザで開き、原本の PDF と並べて、文章・数値・表に写し間違いがないかを読み合わせます。
2. キーボードの Tab キーだけで、ページの最後まで移動できるか確かめます。オレンジの枠が移っていくのが見えれば問題ありません。

3. ブラウザの拡大（Ctrl キーを押しながら＋）で 200% にし、文字が重なったり切れたりしないか見ます。
4. W3C の Nu Html Checker（https://validator.w3.org/nu/ の「Check by file upload」）にファイルを送り、「Error」が出ないことを確かめます。エラーが出たときは、表示された行番号の箇所を見直すか、事業者に連絡してください。
5. 確認が済んだら、`index.html` と同じフォルダに置いて公開します。

6. 図（グラフ）のある資料

図は、見た目と同じ内容を読み上げソフトでも読めるよう、数値から描き直しています（画像を貼る方法は使いません）。次のものを事業者にお渡しください。

お渡しいただくもの	内容
原本	資料の PDF（または Word）
図の数値	図ごとに、図の元になった Excel の表（原課で作図に使ったもの）。手元にない場合は、原本に数値が書かれていれば不要です
公表日	掲載したい日

事業者は、図の生成プログラム（build_page.py）で図・説明文・数値の表を作り、原本の文章にある数値と図の数値が一致するかを照合してからお渡しします。この制作例では、原本の文章・表の数値と、e-Stat や「結果の概要」の数値を照合しています（表2 の 40 市町村の人口と増減数、都道府県別の増減率 47 件、本文の合計値など）。

7. 困ったとき

こんなとき	原因と対処
文字化けする	保存の文字コードが UTF-8 になっていない。エディタで UTF-8 を選んで保存し直す
見た目が崩れる	`</section>` や `</table>` の閉じ忘れが多い。Nu Html Checker のエラーの行を見る
目次から章に移らない	目次の `href="#…"` と章の `id` が一致していない
表が横にはみ出す	表を `<div class="tablewrap" …>` で囲んでいない（4-2 のとおりに囲む）